

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市上野山児童館	
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・ 令和3年度 18,921人（前年度比 113.7%） ・ 令和2年度 16,637人 ・ 令和元年度 24,405人	
	《事業》 ・ 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 39,222千円（38,357千円） ・ その他市が負担した費用 0千円（0千円）	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円（0千円） ・ その他収入 0千円（0千円）	
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

### 三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>令和3年度は、「安全安心でみんなが笑顔に」を館のスローガンとし、コロナ禍にあっても利用する誰もが笑顔になれるような取組を行ってきました。</p> <p>自由来館が制限されたことから、児童クラブを対象にした行事に力を入れてきました。「こども会議」による、子供企画スポーツ大会や係活動、児童クラブ行事における係を担うことで、子供たちが自分たちの力で企画運営しようとする意欲が高まり、館生活が充実したものになりました。また、「チャレンジひろば」として、集団遊びと物づくりに挑戦させてきました。集団遊びでは、風船バレーや大型カルタ取り等、縦割りを取り入れることで遊びの楽しさと共に、子供たち同士の結びつきも高めることができました。ストロンボ（竹とんぼ）やサイコロクエストなどの物づくりは、自作する楽しさ気付くと同時にそれを使った遊びが継続でき、子供たちの遊びの幅を広げることにつながりました。</p> <p>乳幼児の自由来館が可能だった時期は、感染対策をとりながら、日常の場の設定や行事も行うことができました。行事によって参加人数にばらつきもありましたが、ハロウィン等の季節行事やわらべうたは、事前予約がすぐにいっぱいになりました。参加した乳幼児親子の皆さんには十分楽しんでいただけたと思います。昨年度中止した「おさがり市」も今年度は、2回開催しました。児童クラブ保護者の協力で衣服も十分集まり、乳幼児を持つ家庭の支援につながることができました。</p> <p>登録制の和太鼓「飛竜の会」は、コロナ禍のため練習や発表の機会は少なくなりましたが、地域の支えもあり、子供たちも意欲的に活動に取り組んできました。地域施設や市民センターでの演奏発表の機会もあったので、今後も地域根ざした活動として、大いに期待されています。</p> <p>次年度も利用する多くの皆様の笑顔があふれるような児童館運営を目指して参ります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置等の発令があったが、児童クラブに関しては、年間通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部は休止としていたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、6年目となる上野山太鼓「飛竜の会」を継続して、令和3年度からは「飛竜の会親の会」も立ち上げるなど、保護者と共に子ども達の豊かな感性や自主性を育む支援に努めている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、「サーキットタイム」「ブラレールタイム」など、好きな遊びを十分に楽しめる場を提供したり、「すくすくタイム」ではわらべ歌や体操・季節の行事など、保護者のニーズを受けて多彩な内容で開催し好評を得た。子育て支援応援隊と共催で、ヨガ・生け花・ひな人形作りを実施し、保護者のリフレッシュの場も提供した。</p> <p>地域交流推進事業においては、「かたりべの会」「おはなし部屋」を定期的に行い、豊かな情操を育てている。「あそびのひろば」では、併設するおりべ上野山、子育て応援隊や中高・大学生のボランティア、児童クラブ保護者など地域の協力を得て多彩な遊びのブースを設定するなど、地域の方が一体となって子どもの育ちを支える環境作りができています。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、毎月「子ども会議」を行い、主体的に活動ができる支援を行った。その企画の一つの「子ども企画スポーツ大会」では上学年が一年生も参加できる内容で企画開催するなど、自主性と共に社会性が育まれる取り組みとなっている。「チャレンジひろば」として集団遊びや創作活動を年間通して実施した。職員の工夫によるバリエーションに富んだ遊びの提供は、子どもの好奇心が刺激され意欲的な活動参加や遊びの充実につながっている。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課